

移動博物館「いばらきの自然」



【内容】ミュージアムパーク茨城県自然博物館の移動博物館は、来館者の方々が自然への興味関心を高め、自然愛護思想の普及を図るとともに、博物館活動への理解を深めることを目的として実施しています。今回の展示では多様で豊かな茨城県の自然について、当館が所有する動物・植物・地学の標本やレプリカなどの資料を用いてご紹介します。

茨城県は、緯度的にほぼ日本の中央に位置し、関東平野の北東部に位置しています。県北部には、八溝山地や阿武隈山地に属する山々が連なります。県中央部から南側は平野が広がり、利根川や鬼怒川などの河川と、日本第2位の面積を有する霞ヶ浦などがあり、豊かな水に恵まれています。また太平洋側の総延長190kmに渡る海岸線の地形は、海食崖から岩礁、砂浜と変化に富んでおり、沖合では寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかります。これらの自然をかたちづついている変化に富んだ大地のようすと、そこに息づくさまざまな動植物をご覧ください。

【会期】 2015年5月30日(土)～6月7日(日)
 ※展示室公開時間 10時～16時
 【場所】 茨城大学図書館1階展示室
 【主催】 茨城大学図書館 ミュージアムパーク茨城県自然博物館



ステゴロフォドン産出状態

2015年度前学期企画展

「初公開!会津藩追鳥狩図屏風」

併設展

「茨城大学図書館の新収蔵品」

【内容】茨城県内で発見され、茨城大学五浦美術文化研究所の所蔵となった「会津藩追鳥狩図屏風」を、修復を経て初めて公開します。

鳥や兎を号砲を合図に解き放ち、各隊の藩士が敵との対決さながらに、それを捕獲する追鳥狩は、藩士の軍事訓練でもあり、手柄に応じた褒章も行われていました。藩内外の注目度も高く、多くの屏風や絵巻などの絵画作品が残されています。今回、本学の所有となった作品は、これまで確認されているいずれの作例とも異なる図像構成をもつもので、幕末が明治初年頃の製作かと推定される名品です。

茨城と福島、東北とを結ぶこの作品の公開にちなんで、東日本大震災で大きな被害を受けた福島の文化財や歴史資料の現状を写真パネルで紹介し、あわせて奥州市で新たに発見された、「常陸国名所図屏風」を写真パネルで公開します。

【会期】 2015年7月11日(土)～7月26日(日) ※展示室公開時間 10時～16時
 【会場】 茨城大学図書館1階展示室
 【主催】 茨城大学図書館
 【共催】 茨城大学五浦美術文化研究所
 【後援】 ふくしま史料ネット 茨城史料ネット

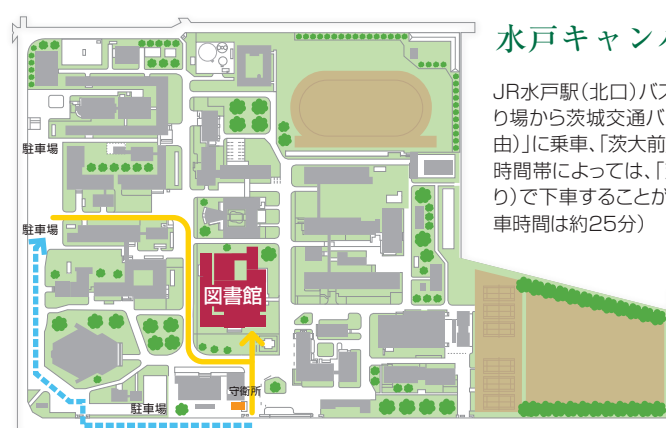


会津藩追鳥狩図屏風(部分)

同時開催 写真パネル展

「被災地福島の文化財・歴史資料の現在」

「新発見 常陸国名所図屏風」



水戸キャンパス

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗り、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

※車でお越しの際は、守衛所()で入校許可証を受け取り、車で矢印()の通りに進んだ先の駐車場にお止めください。

問合せ先 茨城大学図書館利用支援係 TEL 029-228-8076
 Mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp

—2015年度後期(2015.10～2)—(予告)

土曜ライブー学生たちの演奏会・公演ー/ブック・カフェ/秋山文庫開設記念講演会
 ビブリオバトル2015/サイエンス・カフェ/古文書寺子屋 はじめの一歩
 水戸ホーリーホックのフットボール・カフェ/みんなの考古学どきドキ講座2015
 茨城が生んだ江戸時代の地図学者/館長講座「中世茨城[常陸・北下総]のものごたひ」
 茨城学への招待

2015年度前期
(2015.4～2015.8)

茨城大学図書館の
土曜アカデミー

地域の皆様と、学生たちと、ともに学び楽しむイベント・講座のご案内

すべての事業が
無料です

申し込みも
不要です

どなたでも
ご参加
いただけます



主催 茨城大学図書館
 共催 茨城大学COC統括機構 社会連携センター

ブック・カフェ

- 【日 時】 [日時] 2015年5月16日(土曜日) 13時～15時
 【テキスト】 スティーブソン『宝島』=光文社古典新訳文庫(741円)など
 わくわくする海洋冒険小説です。
- 【日 時】 2015年6月20日(土曜日) 13時～15時
 【テキスト】 ヘルマン・ヘッセ『郷愁』=新潮文庫(497円)など※「ベーター・カーメンツィント」「青春彷徨」等の訳題もあります。
 青春を描く、ヘッセの名作です。
- 【日 時】 2015年8月1日(土曜日) 13時～15時
 【テキスト】 ガルシア・マルケス『エレンディア』=ちくま文庫(583円)など
 短編集です。ガルシア・マルケスの魅力を存分に味わいましょう。

*テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。事前に読み、当日、その本を持っておいで下さい。お好きな回だけの参加も可能です。

【内容】 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語りあいます。これまでとちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。「いろいろな世代の人の意見を聞いて楽しかった!」「読んでみてよかった!」と好評いただいています。ごいっしょに、本を読む楽しさを味わいましょう!
 *お飲み物代は各自ご負担願います。

【場所】 茨城大学図書館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合)
 【ナビゲーター(講師)】 西野由希子(茨城大学人文学部教授)
 【後援】 人文学部西野ゼミ



茨城が生んだ江戸時代の地図学者

【日時】 2015年5月23日(土曜日) 13時～14時30分

【場所】 茨城大学図書館3階ライブラリーホール

【横山大観の父と祖父が描いた地図】

横山大観は水戸藩士酒井喜貞(捨彦)の長男として生まれ、20歳のころ母方の縁戚である横山家の養子となりました。実父の酒井捨彦は、「常陸国全図」や「茨城県管轄輿地図」をはじめ、数多くの様々な地図を出版し、明治期における民間の地図製作者として活躍しました。しかし、酒井捨彦が作製した地図に関しては、ほとんど研究例がありませんでした。祖父酒井喜熙は、徳川斉昭の御用絵師として「皇国惣海岸図」を編纂して献上、また「関八州輿地路程全図」を刊行したことで知られています。横山大観の父と祖父、二人の経歴と作製した地図を、新たな研究成果をもとに、わかりやすく紹介いたします。

【講師】 小野寺淳(茨城大学教育学部教授)

【後援】 茨城地理学会



「常陸国全図」明治13年(茨城大学図書館所蔵)

サイエンス・カフェ

【日時】 2015年5月30日(土曜日) 13時～14時30分

【場所】 茨城大学図書館3階ライブラリーホール

【身近な火山が火を噴く時】

軽登山やトレッキングが今ブームですよね。少し前から続いている中高年登山、そしてより最近では山ガール!自然の雄大さと一体化できる気持ちよさは本当に爽快ですよ(^_^)でも、木曾御岳山の突然の噴火以来、「この山って、火山じゃなかったかな? 御岳みたいに、突然噴火したりしないかな? もし噴火したら、どうすれば良いの?」そんな懸念が付きまどってはいませんか(;_;) 火山の噴火や形成史を長年研究してきた火山学者が、火山や噴火のメカニズムを丁寧に解説し、皆さんのそんな疑問にわかりやすく答えます(*^^)v

【講師】 藤縄明彦(茨城大学理学部教授)

【後援】 理学部岩石鉱物学・火山学研究室



安達太良山の沼ノ平火口

【くるま座】談会 21世紀のサステナビリティ学を語ろう!

①【日時】 2015年6月13日(土曜日) 13時～15時
【内容】 「21世紀を生きるためのサステナビリティ学」

【話題提供】 三村信男(茨城大学長・ICAS前機関長)

②【日時】 2015年7月18日(土曜日) 13時～15時
【内容】 「生態系から学ぶサステナビリティ」

【話題提供】 成澤才彦(茨城大学農学部教授)

③【日時】 2015年8月1日(土曜日) 13時～15時
【内容】 「生活環境圏のサステナビリティ」

【話題提供】 桑原祐史(茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター准教授)



【内容】 現在の世界は、地球温暖化、気候変動、食糧問題、エネルギー問題等々が山積しており、持続可能(サステナブル)になっていないという指摘がされています。そのような問題意識の共有により、21世紀になって生まれたのがサステナビリティ学(持続可能性学)です。茨城大学ではこの諸問題に取り組むために、2006年に地球変動適応科学研究機関(Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS)を立ち上げ、現在、全学部(人文・教育・理工・農)から約80人の研究者が参加しています。私たちは、研究者だけがこれらの問題に取り組めばよいのではなく、多くの市民がその対話の輪に参加して一緒に取り組むことが不可欠だと考えています。今回の講座は、IPCC(気候変動に関わる政府間パネル)の委員を長年勤めてきた三村信男学長を始め3人の専門家がその分野の最先端を紹介し、それらについて「くるま座」になって語りあう場を提供します。ぜひ私たちの対話の輪に加わってください。一緒に大いに語りあいましょう!

【場所】 茨城大学図書館1階ラーニング commons

【コーディネーター】 伊藤哲司(ICAS機関長・茨城大学人文学部教授)

【後援】 茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)

古文書寺子屋 はじめの一步

【日時】 2015年7月4日(土曜日) 13時～16時

【場所】 茨城大学図書館1階ラーニング commons

【内容】 現代の私たちと同じように、江戸時代に生きた人びとも、ことばや文章に思いを込めた文書を残しています。しかし、江戸時代の人びとが書いた「古文書」と聞くと、「くずし字で書かれていて、何が書いてあるのか全くわからない…」とってしまうかもしれません。当講座では、茨城大学図書館に収蔵されている古文書を題材として、「くずし字」の初歩を学びます。まずは少しだけ、人びとの筆づかいやくずし字の特徴を知ってみませんか!

【講師】 千葉真由美(茨城大学教育学部准教授) 添田仁(同人文学部准教授)

木戸之都子(同人文学部助手)

【後援】 教育学部千葉ゼミ 人文学部添田ゼミ 茨城史料ネット



上廣歴史文化フォーラム 読み解く!屏風絵の世界—茨城と東北をつなぐ新発見の二作品—

【日時】 2015年7月11日(土曜日) 13時～16時

【場所】 茨城大学図書館3階ライブラリーホール

【内容】 講演1「新発見!常陸名所図屏風」

京都(洛中洛外)や日本三景などを描く「名所図屏風」。六曲一対の大画面に常陸の名勝や寺社を描いた豪華な作品が奥州市で発見された!発見者でもある若手美術史研究者が読み解きます!!

【講師】 猪岡萌菜(千葉大学 大学院生)

講演2「初公開!会津藩追鳥狩図屏風」

会津藩が軍事訓練のため催した追鳥狩を描く、新しい図様の屏風絵が県内から出現!茨城大学の所蔵となった作品を、合戦図屏風研究の第一人者が徹底解説!!

【講師】 高橋修(茨城大学図書館長 人文学部教授)

【主催】 公益財団法人上廣倫理財団 茨城大学図書館 ※この事業のみ主催が異なります。

【後援】 文化庁 茨城県教育委員会 茨城大学五浦美術文化研究所



常陸名所図屏風(部分)

館長講座 「中世茨城[常陸・北下総]のものものふたち」

①【日時】 2015年5月9日(土曜日) 15時30分～17時

【内容】 「平忠常の乱」

将門の乱から一世紀も経たない関東に、再び反逆者が現れた! 関東平氏一族の抗争から事件を復元、忠常の乱が歴史に刻んだ刻印に光を当てます。

②【日時】 2015年6月6日(土曜日) 15時30分～17時

【内容】 「常陸平氏の再生」

忠常を追いこみながらも追討に失敗し、武家としての権威を失った貞盛・繁盛の子孫たち。常陸平氏は、そこからいかにしてよみがえったのか、彼らの足跡を追います。



【場所】 茨城大学図書館3階セミナールーム

【講師】 高橋修(茨城大学図書館長 人文学部教授)

【後援】 茨城大学中世史研究会

